

受付番号： 2018-1-548

課題名：医学教育と研究指導に活かすコーチング研修における参加者のスキル自己評価の前後比較と習得度に影響する要因の検討

### 1. 研究の対象

東北大学医学部教員で2009年～2013年、2015・2016年に実施した「基礎医学実習および研究指導における指導者養成FD」の受講者（161名）

### 2. 研究期間

2017年12月（倫理委員会承認後）～2019年12月

### 3. 研究目的

東北大学医学部Faculty Development (FD)で実施したコーチング研修の前後における教員のコミュニケーションスキルの変化、教員のコミュニケーションの特性、およびスキルの習得に影響する要因を明らかにすること。

### 4. 研究方法

既に個人が特定できない状態で電子データとして保管されている下記情報を用い、統計学的手法を用いて上記の目的に沿ってデータの解析を行います。

### 5. 研究に用いる試料・情報の種類

- 1) 事後アンケート調査
  - 2) 受講前・1か月後・6か月後に実施したコミュニケーションスキル自己評価調査
- また、受講者の年齢・性別・指導経験年数 等

### 6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

### 7. 研究組織

本学単独研究

### 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

**研究責任者：出江 紳一**

所属：東北大学大学院 医工学研究科 リハビリテーション医工学分野  
住所：〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1  
TEL：022-717-7338  
E-mail：izumis@med.tohoku.ac.jp

**◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先**

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

**※注意事項**

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

**◆個人情報の開示等に関する手続**

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

**※注意事項**

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)＞

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合